



5/23
交通死亡事故多発警報発令
～安心で明るい社会づくりのために～

県内での交通死亡事故が多発していることを受けて、官民一体となった啓発活動の出発式が3市合同で行われました。今年に入り、市内だけでも3件の交通死亡事故が発生しており、集結した警察官や交通安全協会に対し、多治見警察署の村瀬署長が「交通事故の無い安心で明るい社会づくりのため、より一層のご尽力をお願いします」と見守りや啓発活動の強化を呼び掛けました。



5/29
私たちの暮らしを豊かに
「ときどきトークン！」開催

くらしのラボプロジェクトなどの活動報告会として、市内のサークルや団体が市役所に集まり、意見交換会を行いました。5回目となる今回は、人とまちをつなぐことを目的に活動するまちづくり団体「ひととき」が主催。個人参加3人を含めた15組が、土岐市で暮らしを豊かにするために取り組んできた活動を報告し合い、交流を深めました。



5/29
訓練の成果を競い合う
第36回土岐市消防操法大会

第36回土岐市消防操法大会が総合公園で行われ、消防団員約170人が参加しました。新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となりましたが、団員たちが日頃の訓練の成果を発揮し、決められた操作と行動、速さ、規律を競い合う、活気あふれる大会となりました。

結果は、見事な連携を披露した下石分団が優勝。下石分団は、8月7日(日)に山県市で開催される岐阜県消防操法大会に土岐市代表として出場し、優勝を目指します。

〈大会結果〉

- 小型ポンプ操法
優勝…下石分団
準優勝…濃南分団
3位…妻木分団
- 小型ポンプ操法優秀隊員賞
指揮者…水野将平(妻木分団)
1番員…津々木勇輔(肥田分団)
2番員…加藤義裕(妻木分団)
3番員…林聖高(下石分団)



▼土岐美濃焼まつり



▲伝統工芸品まつり

▼定林寺まつり



5/3・4・5
自分好みの器を探して
ゴールデンウィーク恒例の春の陶器祭り

ゴールデンウィークの恒例行事である春の陶器祭りが3年ぶりに市内各地で開催され、県内外から多くの買い物客が駆け付けました。開催されたのは、日本三大陶器祭りの一つにも数えられる土岐美濃焼まつり、伝統工芸士が制作した器などが手に入る伝統工芸品まつり、そして町中を散策しながら窯元を巡るだち窯やまつりと定林寺まつりで、お気に入りの器を探す買い物客やろくろ体験を楽しむ家族連れらでにぎわいました。



▲だち窯やまつり

5/6
イタリアの文化・芸術に親しむ
マジョリカ陶器コレクション展開催

イタリアを主な産地として知られるマジョリカ陶器22点が市役所に展示されました。マジョリカ陶器は、イタリアに在任経験を持つ小林元さん(神奈川県)が、イタリアのファエンツァ市と姉妹都市提携を結ぶ土岐市に寄贈したもので、小林さんは「若い陶芸家の皆さんにインスピレーションを与えるきっかけになれば」とセレモニーにメッセージを寄せました。



5/10
美濃焼に親しんで
おかみ塾から子どもたちへのプレゼント

子どもたちに陶磁器に親しみを持ってもらおうと、美濃焼の魅力を発信する「美濃焼おかみ塾」が「みてみておちゃわんのうた」と「陶育ムービー」を作成し、市内の園や児童センターに歌のCDと楽譜を贈りました。おかみ塾の伊藤瑛子さんは「歌を通じて、子どもたちが大人になった時に、美濃焼に誇りを持ってもらえる」と話しました。

